

令和8年度（令和7年度実施）
高知県公立学校教員採用候補者選考審査
筆記審査（専門教養）

中学校 高等学校 特別支援学校 中学部・高等部
音楽

受審番号		氏 名	
------	--	-----	--

【注意事項】

- 1 審査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
- 2 解答用紙（マークシート）は2枚あります。切り離さないでください。
- 3 解答用紙（マークシート）は、2枚それぞれに下記に従って記入してください。
○ 記入は、HBの鉛筆を使用し、該当する○の枠からはみ出さないよう丁寧にマークしてください。



- 訂正する場合は、消しゴムで完全に消してください。
- 氏名、受審する教科・科目、受審種別、受審番号を、該当する欄に記入してください。

また、併せて、右の例に従って、受審番号をマークしてください。

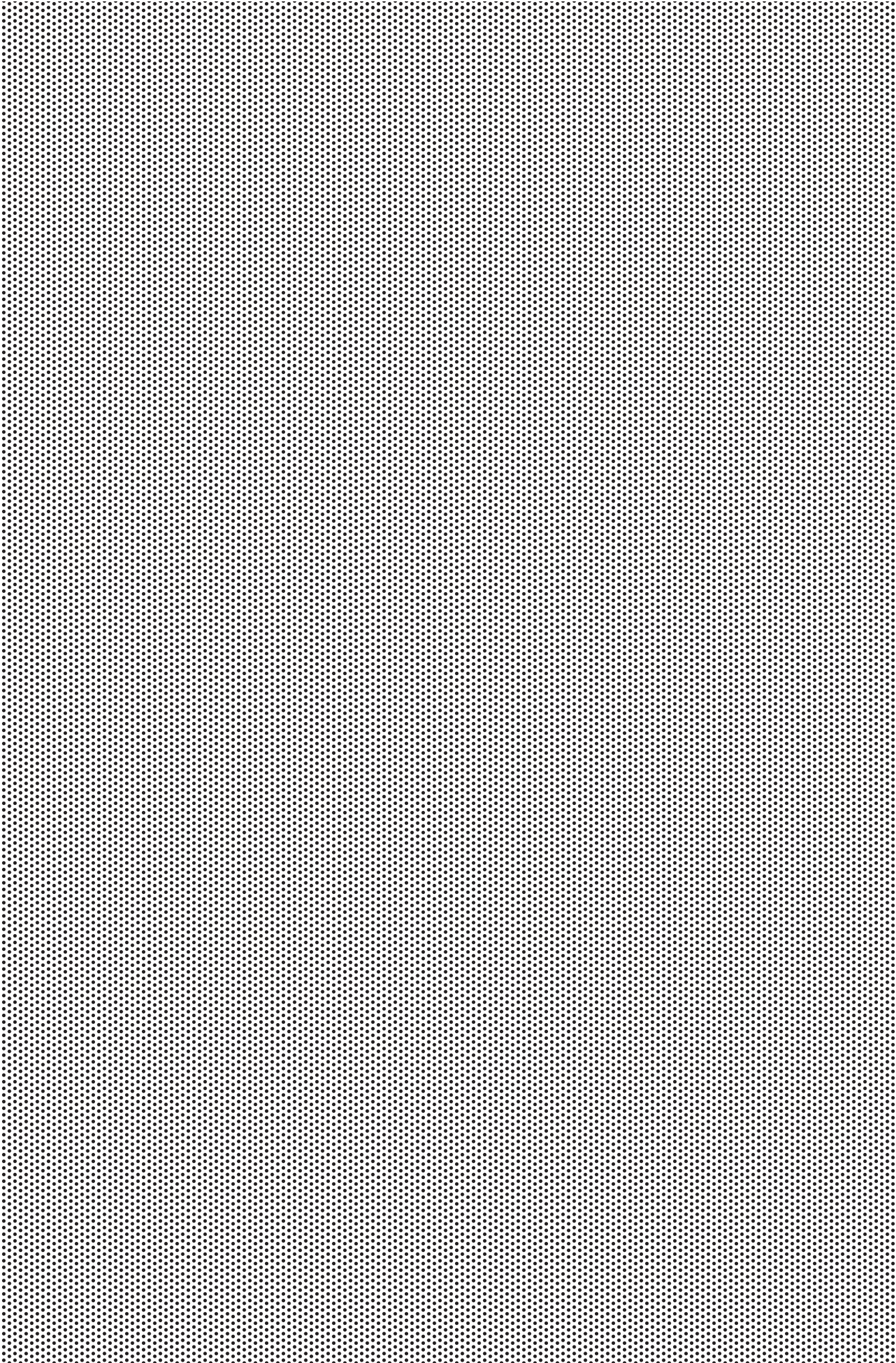
受 審 番 号				
万	千	百	十	一
1	2	3	4	5
○	○	○	○	○
●	○	○	○	○
○	●	○	○	○
○	○	●	○	○
○	○	○	●	○
○	○	○	○	●

記入例

(受審番号12345の場合)

- 4 この問題は、【共通問題】、及び【選択問題 中学校】、【選択問題 高等学校】、【選択問題 特別支援学校】の各問題から構成されています。選択問題で受審種別以外の問題を選択して解答した場合、解答は全て無効となります。

※本冊子の裏表紙に、【注意事項】の続きが記載されています。本冊子を裏返して、必ず読んでください。まだ、問題冊子は開かないでください。



【共通問題】

第1問 次の1～4の問いに答えなさい。

1 音程に関して、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 次の楽譜に示す音程を、下のa～dから一つ選びなさい。



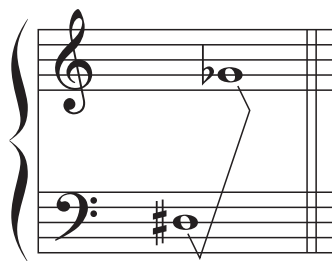
a 完全5度 b 減5度 c 増5度 d 重増5度

(2) 次の楽譜に示す音程を、下のa～dから一つ選びなさい。



a 短7度 b 増7度 c 長7度 d 重増7度

(3) 次の楽譜に示す音程を、下のa～dから一つ選びなさい。

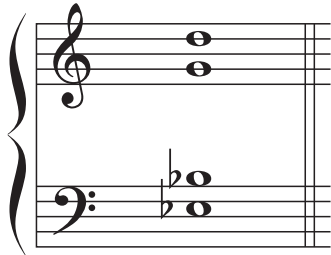


a 1オクターブと重減4度
b 1オクターブと減4度
c 1オクターブと増4度
d 1オクターブと完全4度

2 和音・コードネームに関して、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 次の楽譜に示す和音は何調の何度の和音か、下のa～dから一つ選びなさい。

エ



- a 変ホ短調のI₇の和音 b へ短調のVII₇の和音
c 変イ長調のV₇の和音 d 変ロ長調のIV₇の和音

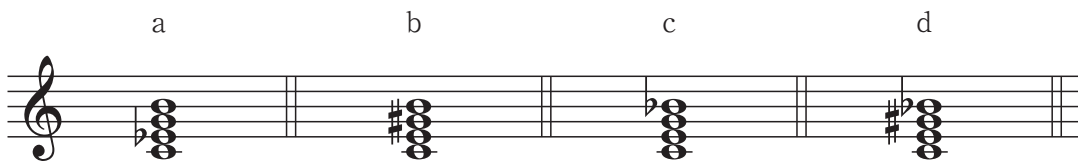
(2) 次のコードネームで表される和音を、下のa～dから一つ選びなさい。 オ

F[#]dim₇



(3) 次のコードネームで表される和音を、下のa～dから一つ選びなさい。 カ

Caug₇



3 調性に関して、次の(1)～(4)の問いに答えなさい。

(1) 嬰ハ短調の平行調の下属調を、次のa～dから一つ選びなさい。

a ニ長調 b イ長調 c 変ニ長調 d ホ長調

(2) 次の楽譜に示す3つの音を含む音階を、下のa～dから一つ選びなさい。



a ヘ短調の和声的短音階 b ヘ短調の旋律的短音階（下行形）
c 変ロ短調の旋律的短音階（上行形） d 変ロ長調（長音階）

(3) 次に示すニ短調の楽譜をヘ短調に移調した楽譜として適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。

(4) 次に示す楽譜の一部分は、何調から何調へ転調しているか、下の a～d から一つ選びなさい。

a ハ長調から変ニ長調へ

b ト長調からト短調へ

c ト長調から変ホ長調へ

d ト短調から変ロ長調へ

4 音楽用語等に関して、次の(1)～(5)の問いに答えなさい。

(1) 装飾音「モルデント」に関する説明として適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a ある音符とすぐ上の音とでなされる、す速くて短い交替
- b ある音を中心にその前後をまわる音階
- c ある音符の前につき、その音へなめらかに入り込む
- d ある音符とその半音ないし1音低い音とでなされる、す速い交替

(2) 速度等に関する用語のうち、「con moto」の意味として適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 自由に
- b ゆっくり歩くような速さで
- c 元気に速く
- d 動きをつけて

(3) 「scherzando」の意味として適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 生き生きと
- b おどけて
- c 軽く
- d 熱烈に

(4) 「愛らしく」を意味する音楽用語を、次のa～dから一つ選びなさい。

- a comodo
- b amabile
- c pastorale
- d tranquillo

(5) 次に示す反復記号にしたがって演奏した場合, どのような順番で演奏することになるか。各小節に付された番号を正しく並べたものを, 下の a ~ d から一つ選びなさい。

ソ

The musical score consists of two staves. The first staff contains measures 1 through 4. Measure 1 has a circled '1'. Measure 2 has a circled '2'. Measure 3 has a circled '3' and a first ending bracket above it. Measure 4 has a circled '4' and is the end of the first ending. The second staff contains measures 5 through 8. Measure 5 has a circled '5' and a second ending bracket above it. Measure 6 has a circled '6' and is the end of the second ending. Measure 7 has a circled '7' and is marked 'D.C.'. Measure 8 has a circled '8' and is marked 'Coda'.

- a ①②③④⑤③⑥⑦③⑧
- b ①②③④⑤①②⑥⑦③⑧
- c ①②③④⑤①②③⑥⑦③⑧
- d ①②③④⑤①②③⑥⑦①②⑧

第2問 次の楽譜は、ある楽曲の冒頭部分である。この楽曲に関して (1) ~ (6) の問いに答えなさい。

- (1) この楽曲とその作曲者の組合せとして正しいものを、次の a～d から一つ選びなさい。

＜楽曲＞	＜作曲者＞
a 交響組曲「シェエラザード」第2楽章	N.リムスキー・コルサコフ
b 交響詩「ローマの松」第3部「ジャニコロの松」	O.レスピーギ
c 交響曲 第1番 第1楽章	J.ブラームス
d 交響曲 第2番「復活」第5楽章	G.マーラー

- (2) この楽譜において、冒頭の1小節目の全パートに記される強弱記号を、次の a～d から一つ選びなさい。

a *pp* b *p* c *mp* d *f*

- (3) この楽譜において、①で示されているパートはどの楽器で演奏されるのか、次の a～d から一つ選びなさい。

a トランペット b バイオリン c フルート d オーボエ

- (4) この楽譜の3小節目の で囲った部分の和音の種類を、次の a～d から一つ選びなさい。

a 長三和音 b 短三和音 c 長七の和音 d 短七の和音

- (5) この楽曲に関する説明として適切なものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a 全体は4部からなり、休憩を挟まず続けて演奏される。
 b 「千一夜物語」の登場人物のイメージをもとに作曲されている。
 c 「怒りの日」に基づく旋律が奏でられ、合唱も取り入れられている。
 d ベートーヴェンの第9交響曲に続く、第10交響曲とも呼ばれ、作品の完成に長い年月を要した。

- (6) この楽曲の作曲者とは異なる時代に活躍した作曲者を、次の a～d から一つ選びなさい。

a G.ヴェルディ b F.リスト
 c R.ワーグナー d W.A.モーツァルト

第3問 次の1・2の問いに答えなさい。

1 次に示す楽譜の楽曲に関して、下の(1)～(4)の問いに答えなさい。

(1) この楽曲の作詞者と作曲者の組合せとして正しいものを、次のa～dから一つ選びなさい。

<作詞者>	<作曲者>
a 武島羽衣	滝廉太郎
b 三木露風	山田耕筰
c 土井晩翠	滝廉太郎
d 江間章子	團伊玖磨

(2) この楽譜のAに該当する部分の1番の歌詞はどれか、次のa～dから一つ選びなさい。

a なきゆくかりのかずみせて	b ちよのまつがえわけいでし
c めぐるさかずきかげさして	d ううるつるぎにてりそいし

(3) この楽曲に関する説明として適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a NHKのラジオ歌謡として作曲され、尾瀬ヶ原の風景を歌った楽曲である。
- b 戦争が終わり、平和が訪れた地上に立ち、夢を描いた歌詞である。
- c 新潟県、福島県、群馬県にまたがる地が舞台となっている楽曲である。
- d 東京音楽学校による中等唱歌集の編集企画で出された題をもとに作詞された。

(4) この楽曲の作曲者が作っていない楽曲を、次のa～dから一つ選びなさい。


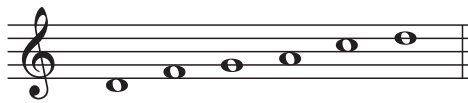


- a 箱根八里
- b お正月
- c 早春賦
- d 鳩ぼっぼ

2 次の(1)～(6)の問いに答えなさい。

(1) 民謡や民俗芸能と都道府県の組合せとして正しいものを、次のa～dから一つ選びなさい。

<民謡や民俗芸能>	<都道府県>
a 「安来節」	鳥取県
b 「江差追分」	北海道
c 「ひえつき節」	宮城県
d 「よさこい節」	徳島県

(2) 次の楽譜と日本の音階名の組合せが正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。

①	②
	
③	④
	


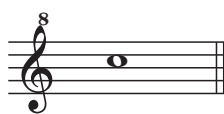
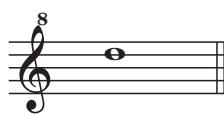

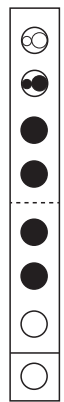
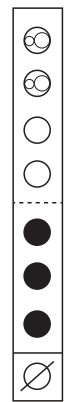
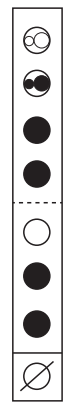

a ①→沖縄音階 b ②→民謡音階 c ③→都節音階 d ④→律音階

(3) 「カッターリー」に関する説明として適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

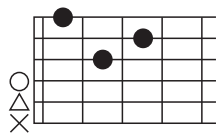
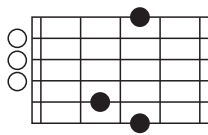
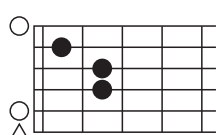
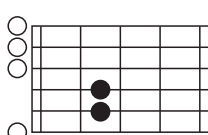
- a パキスタンなどに伝わる宗教的な歌で、伴奏には小型オルガンが主に用いられる。
- b 朝鮮半島で広く歌われている民謡で、3拍子の拍節によるものが多い。
- c 元来は悪魔祓いのための舞踊であったが、「ラーマーヤナ」の物語を組み入れた舞踊劇として演じられるようになった。
- d 「長い歌」を意味し、決まった拍節はなく、装飾音を多用するのが特徴である。

第4問 次の(1)～(9)の問いに答えなさい。

(1) 次の楽譜に示す音とアルトリコーダーの運指の組合せが誤っているものを、次のa～dから一つ選びなさい。 ア

a	b	c	d
			
			

(2) コードネームとギターのダイアグラムの組合せとして正しいものを、次のa～dから一つ選びなさい。 イ

<p>a D </p>	<p>b G </p>
<p>c A7 </p>	<p>d Esus4 </p>

○…開放弦 ×…弾かない弦 △…弾かなくてもよい弦

(3) ギター奏法に関する説明として適切なものを、次の a～d から一つ選びなさい。

ウ

- a 指で分散和音を演奏することをストローク奏法という。
- b アルアイレ奏法は旋律を弾いたり、低音をしっかりと鳴らしたりするのに適している。
- c 弦を弾いた後、指を隣の弦に当てて止めるのがアポヤンド奏法である。
- d クラシックギターではピックを用いてストロークを行うのが一般的である。

(4) 次の文は、クラリネットについて説明している。文中の (①) ～ (③) に該当する語句の組合せとして正しいものを、下の a～d から一つ選びなさい。

エ

クラリネットは、(①) のリードによって発音される木管楽器であり、その構造は、マウスピースやベル等の5部に分けられる。表現力の豊かさと音域の広さが特徴である。クラリネットには変口調や (②) の2種が主として使われ、代表的な曲に (③) が作曲したディベルティメントK.113がある。

- a ① 1枚 ② イ調 ③ パレストリーナ
- b ① 1枚 ② イ調 ③ モーツァルト
- c ① 2枚 ② ヘ調 ③ モーツァルト
- d ① 2枚 ② ヘ調 ③ パレストリーナ

(5) 次の①～④の楽曲と作曲者の組合せが古い時代順に正しく並んでいるものを、下の a～d から一つ選びなさい。 オ

- ① 「ブルタバ (モルダウ)」(B. スメタナ)
- ② 「ノヴェンバー・ステップス」(武満徹)
- ③ 「ボレロ」(M. ラヴェル)
- ④ 「ポロネーズ第6番『英雄』」(F. ショパン)

- a ④ → ① → ③ → ② b ② → ③ → ④ → ①
- c ① → ④ → ② → ③ d ③ → ④ → ① → ②

(6) ジョン・ケージに関する説明として適切なものを、次の a～d から一つ選びなさい。

カ

- a 楽器本体から出ている2本のアンテナに手を近づけたり遠ざけたりすることで、音高と音量を変化させる電子楽器を開発した。
- b オクターブ内の12音全てを同等に扱う「12音技法」を確立した。
- c プリペアドピアノの発明の他、楽曲の素材や部分の選択を積極的に偶然に任せる実験的創作を行った。
- d 中世の音階や五音音階を用いて、それまでの音楽の響きから脱却した音楽によって近代音楽の扉を開いた。

(7) 次の文が説明しているポピュラー音楽のジャンルを、下の a～d から一つ選びなさい。

キ

ブルースとゴスペルのリズム感が融合して、1930年代に生まれたアフリカ系アメリカ人による音楽である。

- a ジャズ
- b リズムアンドブルース
- c ロック
- d ヒップホップ

(8) 郷土の音楽に用いられる楽器と都道府県の組合せとして正しいものを、次の a～d から一つ選びなさい。

ク

- | | <楽器> | <都道府県> |
|---|--------|--------|
| a | 三線 | 秋田県 |
| b | こきりこ | 熊本県 |
| c | パーランクー | 北海道 |
| d | 胡弓 | 富山県 |

- (9) 次の文は、日本の伝統音楽について説明している。文中の (①) ~ (③) に該当する語句の組合せとして正しいものを、下の a ~ d から一つ選びなさい。

ケ

三曲合奏は、江戸時代に生まれた、三味線、(①), (②), (③) による室内楽の総称である。ただし、合奏の際に (②) と (③) を同時に用いることはない。

- | | | | |
|---|------|------|------|
| a | ① 箏 | ② 胡弓 | ③ 篠笛 |
| b | ① 箏 | ② 尺八 | ③ 胡弓 |
| c | ① 胡弓 | ② 尺八 | ③ 箏 |
| d | ① 篠笛 | ② 箏 | ③ 尺八 |

【選択問題 中学校】

第5問 平成29年3月告示の中学校学習指導要領 音楽について、次の(1)～(5)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は、「第1 目標」の一部である。(①)～(④)に該当する語句の組合せとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。 ア

表現及び鑑賞の(①)活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の(②)について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを(③)聴くことができるようにする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する(④)を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

- | | | | | |
|---|-------|-------|--------|-------|
| a | ① 豊かな | ② 価値 | ③ 味わって | ④ 創造性 |
| b | ① 豊かな | ② 価値 | ③ 幅広く | ④ 感性 |
| c | ① 幅広い | ② 多様性 | ③ 味わって | ④ 感性 |
| d | ① 幅広い | ② 多様性 | ③ 豊かに | ④ 創造性 |

- (2) 次の文は、「第2 各学年の目標及び内容〔第1学年〕2 内容 A 表現(2)」の事項の一部である。(①) ~ (③) に該当する語句の組合せとして正しいものを、下のa~dから一つ選びなさい。

(2) 器楽の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア (略)

イ 次の(ア)及び(イ)について理解すること。

(ア) (略)

(イ) 楽器の(①)と奏法との関わり

ウ 次の(ア)及び(イ)の技能を身に付けること。

(ア) 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、(②)などの技能

(イ) 創意工夫を生かし、全体の響きや(③)などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能

- | | | | |
|---|---------|------------|----------|
| a | ① 音色や響き | ② 音の選択や組合せ | ③ 構成上の特徴 |
| b | ① 音色や響き | ② 身体の使い方 | ③ 各声部の音 |
| c | ① 仕組み | ② 音の選択や組合せ | ③ 各声部の音 |
| d | ① 仕組み | ② 身体の使い方 | ③ 構成上の特徴 |

- (3) 次の文は、「第2 各学年の目標及び内容〔第2学年及び第3学年〕2 内容 B 鑑賞(1)」の事項の一部である。(①) ~ (③) に該当する語句の組合せとして正しいものを、下のa~dから一つ選びなさい。

(1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(ア)から(ウ)までについて考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。

(ア) (略)

(イ) (①)における音楽の意味や役割

(ウ) (略)

イ 次の(ア)から(ウ)までについて理解すること。

(ア) (略)

(イ) 音楽の特徴とその背景となる(②), 他の芸術との関わり

(ウ) 我が国や(③)の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性

- | | | | |
|---|---------|---------|------|
| a | ① 曲や演奏 | ② 知識や技能 | ③ 郷土 |
| b | ① 曲や演奏 | ② 文化や歴史 | ③ 民族 |
| c | ① 生活や社会 | ② 知識や技能 | ③ 民族 |
| d | ① 生活や社会 | ② 文化や歴史 | ③ 郷土 |

- (4) 次の文は、「第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2 (1) カ」の事項である。
 (①) ~ (③) に該当する語句の組合せとして正しいものを、下のa~dから
 一つ選びなさい。

カ 自己や他者の著作物及びそれらの著作者の (①) を尊重する態度の形成
 を図るとともに、必要に応じて、音楽に関する (②) について触れるよう
 にすること。また、こうした態度の形成が、(③)、発展、創造を支えてい
 ることへの理解につながるよう配慮すること。

- | | | | |
|---|-------|---------|-----------|
| a | ① 創造性 | ② 知的財産権 | ③ 音楽文化の継承 |
| b | ① 創造性 | ② 著作権 | ③ 音楽表現の理解 |
| c | ① 権利 | ② 知的財産権 | ③ 音楽表現の理解 |
| d | ① 権利 | ② 著作権 | ③ 音楽文化の継承 |

- (5) 次の文は、「第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2 (2) ア」の事項の一部であ
 る。(①) ~ (③) に該当する語句の組合せとして正しいものを、下のa~d
 から一つ選びなさい。

ア 歌唱教材は、次に示すものを取り扱うこと。

(7) 我が国及び諸外国の様々な音楽のうち、指導のねらいに照らして適切で、
 生徒にとって親しみがもてたり意欲が高められたり、生活や社会において
 音楽が果たしている役割が感じ取れたりできるもの。

(イ) (①) などの我が国の伝統的な歌唱のうち、生徒や学校、地域の実態
 を考慮して、(②) や歌い方の特徴を感じ取れるもの。なお、これら
 を取り扱う際は、その表現活動を通して、生徒が我が国や郷土の伝統音楽の
 よさを味わい、(③) をもつことができるよう工夫すること。

(ウ) (略)

- | | | | |
|---|----------|---------|------|
| a | ① 雅楽, 民謡 | ② 発声 | ③ 関心 |
| b | ① 雅楽, 民謡 | ② 発声 | ③ 愛着 |
| c | ① 民謡, 長唄 | ② 伝統的な声 | ③ 愛着 |
| d | ① 民謡, 長唄 | ② 伝統的な声 | ③ 関心 |

【選択問題 高等学校】

第5問 平成30年3月告示の高等学校学習指導要領 芸術 音楽Iについて、次の(1)～(5)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は、「1 目標」の一部である。(①)～(④)に該当する語句の組合せとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。 ア

音楽の(①)を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と(②)や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を(③)しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、(④)音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

- | | | | | |
|---|---------|---------|------|----------|
| a | ① 豊かな体験 | ② 音楽の構造 | ③ 鑑賞 | ④ 生涯にわたり |
| b | ① 豊かな体験 | ② 雰囲気 | ③ 評価 | ④ 多様な |
| c | ① 幅広い活動 | ② 音楽の構造 | ③ 評価 | ④ 生涯にわたり |
| d | ① 幅広い活動 | ② 雰囲気 | ③ 鑑賞 | ④ 多様な |

- (2) 次の文は、「2 内容 A 表現 (2) 器楽」の事項の一部である。(①) ~ (③) に該当する語句の組合せとして正しいものを、下の a ~ d から一つ選びなさい。

(2) 器楽

器楽に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア (略)

イ 次の (ア) から (ウ) までについて理解すること。

(ア) (略)

(イ) (略)

(ウ) (①) 表現形態による器楽表現の特徴

ウ 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、次の (ア) から (ウ) までの技能を身に付けること。

(ア) 曲にふさわしい奏法, (②) などの技能

(イ) 他者との (③) を意識して演奏する技能

(ウ) (略)

- | | | | |
|---|-----------|------------|-------|
| a | ① 文化的・歴史的 | ② 音の選択や組合せ | ③ 調和 |
| b | ① 文化的・歴史的 | ② 身体の使い方 | ③ 関わり |
| c | ① 様々な | ② 音の選択や組合せ | ③ 関わり |
| d | ① 様々な | ② 身体の使い方 | ③ 調和 |

- (3) 次の文は、「2 内容 B 鑑賞 (1)」の事項の一部である。(①) ~ (③) に該当する語句の組合せとして正しいものを、下の a ~ d から一つ選びなさい。

(1) 鑑賞

鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の (ア) から (ウ) までについて考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くこと。

(ア) 曲や演奏に対する評価とその (①)

(イ) (略)

(ウ) 音楽表現の (②)

イ 次の (ア) から (ウ) までについて理解すること。

(ア) (略)

(イ) (略)

(ウ) 我が国や郷土の伝統音楽の (③) とそれぞれの特徴

- | | | | |
|---|------|-----------|------|
| a | ① 根拠 | ② 共通性や固有性 | ③ 種類 |
| b | ① 根拠 | ② 多様性 | ③ 曲想 |
| c | ① 理解 | ② 共通性や固有性 | ③ 曲想 |
| d | ① 理解 | ② 多様性 | ③ 種類 |

- (4) 次の文は、「3 内容の取扱い (9)」の事項である。(①) ~ (③) に該当する語句の組合せとして正しいものを、下の a ~ d から一つ選びなさい。

内容の「A表現」及び「B鑑賞」の教材については、学校や (①) の実態等を考慮し、我が国や (②) の伝統音楽を含む我が国及び諸外国の様々な音楽から幅広く扱うようにする。また、「B鑑賞」の教材については、(③) の諸民族の音楽を含めて扱うようにする。

- | | | | |
|---|------|------|---------|
| a | ① 生徒 | ② 郷土 | ③ 世界 |
| b | ① 生徒 | ② 民族 | ③ アジア地域 |
| c | ① 地域 | ② 郷土 | ③ アジア地域 |
| d | ① 地域 | ② 民族 | ③ 世界 |

- (5) 次の文は、「3 内容の取扱い (10)」の事項である。(①) ~ (③) に該当する語句の組合せとして正しいものを、下の a ~ d から一つ選びなさい。

オ

音楽活動を通して、それぞれの(①)に応じ、生徒が音や音楽と(②)との関わりを実感できるよう指導を工夫する。なお、適宜、(③)などについても取り扱い、音環境への関心を高めることができるよう指導を工夫する。

- | | | | |
|---|--------|---------|----------------|
| a | ① 興味関心 | ② 文化 | ③ 自然音や環境音 |
| b | ① 興味関心 | ② 生活や社会 | ③ 現代音楽やポピュラー音楽 |
| c | ① 教材等 | ② 文化 | ③ 現代音楽やポピュラー音楽 |
| d | ① 教材等 | ② 生活や社会 | ③ 自然音や環境音 |

【選択問題 特別支援学校】

第5問 次の1～4の問いに答えなさい。

- 1 次の文は、令和3年6月に文部科学省より示された「障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～」の「第1編 障害のある子供の教育支援の基本的な考え方」の一部である。

文中の ～ に当てはまる語句を下の1～9から一つずつ選びなさい。

③ 合理的配慮の決定方法・提供

(中略)

合理的配慮は、子供一人一人の障害の状態等を踏まえて教育的ニーズの整理と必要な支援の内容の検討を通して、個々に決定されるものである。(中略)

これを踏まえて、設置者及び学校と本人及び保護者により、 を作成する中で、発達の段階を考慮しつつ、次の「④合理的配慮の観点」を踏まえながら、合理的配慮について可能な限り を図った上で決定し、提供されることが望ましい。その内容は、 に明記するとともに、個別の指導計画においても活用されることが重要である。

④ 合理的配慮の観点

合理的配慮については、個別の状況に応じて提供されるものであり、これを具体的かつ網羅的に記述することは困難であるが、中央教育審議会初等中等教育分科会報告においては、合理的配慮を提供するに当たっての観点を、①、②支援体制、③施設・設備について類型化した整理が試みられている。

- | | | | |
|---------|-------------|--------|-----------|
| 1 教材・教具 | 2 年間指導計画 | 3 合意形成 | 4 指導要録 |
| 5 効率化 | 6 個別の教育支援計画 | 7 課題解決 | 8 教育内容・方法 |
| 9 障害特性 | | | |

2 次の文は、令和5年3月に厚生労働省より示された「強度行動障害を有する者の地域支援体制に関する検討会 報告書」の一部である。

文中の ～ に当てはまる語句を、下の a～d からそれぞれ一つ選びなさい。

強度行動障害とは、自傷、他害、こだわり、もの壊し、睡眠の乱れ、異食、多動など本人や周囲の人の暮らしに影響を及ぼす行動が、 起こるため、特別に配慮された支援が必要になっている「」である。

(中略)

によって平成13年に採択されたICF（国際機能分類）では「障害」の背景因子について、 因子と環境因子という観点から説明されている。ICFにおける環境因子とは「物的環境や社会的環境、人々の社会的な態度による環境の特徴が持つ促進的あるいは阻害的な影響力」とされ、強度行動障害を有する者への支援にあたっては、知的障害や自閉スペクトラム症の特性など 因子と、どのような環境のもとで強度行動障害が引き起こされているのか環境因子もあわせて分析していくことが重要となる。こうした個々の障害特性をアセスメントし、強度行動障害を引き起こしている環境要因を していくことが強度行動障害を有する者への支援において標準的な支援である。

- | | | | | |
|--------------------------------|---|----------|---|---------|
| <input type="text" value="工"/> | a | ごく稀に | b | 夜間に集中して |
| | c | 著しく高い頻度で | d | 一時的に |

- | | | | | |
|--------------------------------|---|----|---|------|
| <input type="text" value="オ"/> | a | 障害 | b | 重複障害 |
| | c | 疾病 | d | 状態 |

- | | | | | |
|--------------------------------|---|--------|---|------|
| <input type="text" value="カ"/> | a | UNESCO | b | WTO |
| | c | WHO | d | IAEA |

- | | | | | |
|--------------------------------|---|-----|---|-----|
| <input type="text" value="キ"/> | a | 心理的 | b | 行動的 |
| | c | 発達 | d | 個人 |

- | | | | | |
|--------------------------------|---|----|---|----|
| <input type="text" value="ク"/> | a | 発見 | b | 決定 |
| | c | 把握 | d | 調整 |

3 次の文は、「特別支援学校 小学部・中学部学習指導要領（平成29年4月告示） 第1章 総則 第3節 教育課程の編成」の一部である。

文中の ～ に当てはまる語句を下の a～d からそれぞれ一つ選びなさい。

カ 知的障害者である児童に対する教育を行う特別支援学校の小学部においては、生活、国語、算数、音楽、図画工作及び体育の各教科、道徳科、特別活動並びに自立活動については、特に示す場合を除き、 児童に履修させるものとする。また、 については、児童や学校の実態を考慮し、必要に応じて設けることができる。

キ 知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校の中学部においては、国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育及び の各教科、道徳科、総合的な学習の時間、特別活動並びに自立活動については、特に示す場合を除き、 生徒に履修させるものとする。また、 については、生徒や学校の実態を考慮し、必要に応じて設けることができる。

ク 知的障害者である児童又は生徒に対する教育を行う特別支援学校において、各教科の指導に当たっては、各教科の を基に、児童又は生徒の知的障害の状態や経験等に応じて、具体的に指導内容を設定するものとする。その際、小学部は6年間、中学部は3年間を見通して計画的に指導するものとする。

a 特定の
b 全ての
c 特性のある
d 希望する

a 外国語活動
b 総合的な学習の時間
c 日常生活の指導
d 社会及び理科

a 技術・家庭
b 職業
c 生活単元学習
d 職業・家庭

a 外国語活動
b 情報
c 外国語科
d プログラミング活動

a 見方・考え方
b 段階に示す内容
c 学年の目標
d 配慮事項

4 次の表は、令和5年度の高知県公立特別支援学校中学部、高等部（専攻科を含む）卒業生の進路状況をまとめたものである。

表中の下線部①、②の説明として正しいものを、下のa～eからそれぞれ一つ選びなさい。

	福祉的就労						その他
	①就労継続支援		就労移行	療養介護	②生活介護	自立訓練	
	A型	B型					
高等部卒業生数	6	46	2	0	20	1	57

- a 医療と常時介護を必要とする人に、医療機関で機能訓練、療養上の管理、看護、介護及び日常生活の支援を行うサービス
- b 一般企業等での就労が困難な人に、働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行うサービス
- c 常に介護を必要とする人に、昼間、入浴、排せつ、食事の介護等を行うとともに、創作的活動又は生産活動の機会を提供するサービス
- d 一般就労に移行した人に、就労に伴う生活面の課題に対応するための支援を行うサービス
- e 一人暮らしに必要な理解力・生活力等を補うため、定期的な居宅訪問や随時の対応により日常生活における課題を把握し、必要な支援を行うサービス

- ①

セ

- ②

ソ



- 5 解答は、解答用紙（マークシート）の解答欄をマークしてください。例えば、解答記号 と表示のある問いに対して b と解答する場合は、下の（例）のようにアの解答欄の b をマークしてください。

（例）

ア	<input type="radio"/> a	<input checked="" type="radio"/> b	<input type="radio"/> c	<input type="radio"/> d	<input type="radio"/> e	<input type="radio"/> 0	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5	<input type="radio"/> 6	<input type="radio"/> 7	<input type="radio"/> 8	<input type="radio"/> 9	<input type="radio"/> .	<input type="radio"/> -	<input type="radio"/> ±
---	-------------------------	------------------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------

なお、一つの解答欄に対して、二つ以上マークしないでください。

- 6 筆記審査（専門教養）が終了した後、解答用紙（マークシート）のみ回収します。監督者から指示があれば、この問題冊子を、各自、持ち帰ってください。